

新宿区景観まちづくり審議会小委員会の報告について 【屋外広告物の景観誘導推進】

平成24年12月10日、及び平成25年2月21日に開催した新宿区景観まちづくり審議会小委員会において、屋外広告物の景観誘導推進について報告を行った。小委員会委員の意見を踏まえ、新宿区「屋外広告物の景観誘導推進」基本方針（案）を作成した。

1 第1回景観まちづくり審議会小委員会

開催日時 平成24年12月10日（月） 10:00～12:00
出席者 窪田委員長 橋本副委員長 進士委員 後藤委員 秋田委員
大浦委員 和田委員 大野委員 齋藤委員

【報告内容】平成24年度 新宿区「屋外広告物の景観誘導推進」の中間報告

(1) 関連法令

《法律》 「屋外広告物法（昭和24年施行）」及び「東京都屋外広告物条例（昭和24年施行）」

【課題】「用途地域ごとに規制が一律」、「新たな広告媒体に対応困難」等

《新宿区：事務特例》 東京都屋外広告物条例の審査業務→「申請窓口」

【課題】「都条例の数値基準の審査中心」

《新宿区景観まちづくり計画：景観事前協議》 平成23年度：協議209件のうち屋外広告物は8件

【課題】「景観誘導が不十分」

(2) 先進自治体調査

《全国の先進的な取り組み傾向》

「まちの景観の保全・創出」や「違反広告への対応」という全国的な共通課題に対し、住民、行政、広告主、広告業者、専門家等がそれぞれの役割を認識し、多様な主体が連携しながら取り組んでいる。

(3) 「屋外広告物の景観を考える区民ワークショップ」の開催

①参加者

13名（景観まちづくり審議会区民委員：8名、審議会関係団体からの推薦：5名）

②ワークショップ目的

屋外広告物に関する現状を区民がどのように考えているかを把握するとともに、今後、新宿区がどのような取り組みを行っていくべきかをともに考える。

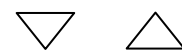
(4) 新宿区景観シンポジウム「新宿の広告景観を考える」～まちに似合う広告とは～の開催

①シンポジウム概要

平成24年10月23日 新宿区立文化センター小ホール

②内容

- ・講話「後藤春彦氏（早稲田大学教授）」、「太田幸夫氏（前多摩美術大学教授）」
- ・市民によるプレゼンテーション「美しい東京をつくる都民の会」
- ・パネルディスカッション「コーディネーター：進士五十八氏」『新宿が目指すまちづくりと景観』



【委員意見】

- ・先日開催したシンポジウムの講話内容はとても参考となると思う。
- ・日本、東アジアは広告文化があると思う
- ・筆の文化はアジアの特徴であるため、大事にしてほしい。
- ・歌舞伎町では屋外広告物によるにぎわいの創出も考えられる。一方で、公共への還元も重要。
- ・歌舞伎町では広告物が地域特性となっており、広告物がなくなると成り立たない。ただし、許せる広告と許せない広告がある。
- ・夜間照明は、広告物と関わりが大きいのでしっかり整理する必要がある。

2 第2回景観まちづくり審議会小委員会

開催日時 平成25年2月21日（木） 14:00～16:30
出席者 窪田委員長 橋本副委員長 進士委員 後藤委員
大浦委員 和田委員 大野委員 齋藤委員

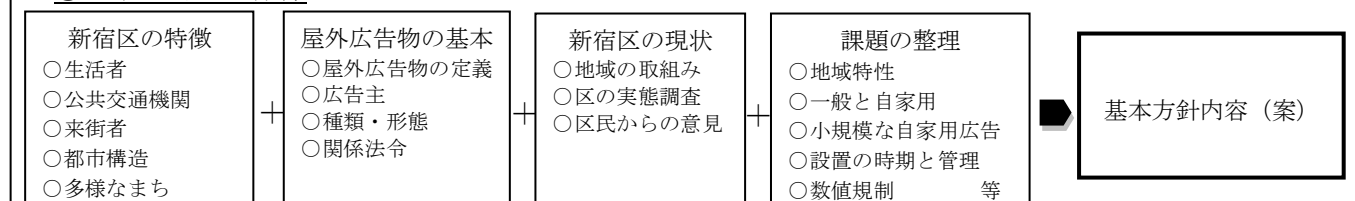
【報告内容】新宿区「屋外広告物の景観誘導推進」基本方針（案）について

(1) 基本方針の概要

①基本方針の位置付け

景観まちづくりの推進の一環として、今後、新宿区が屋外広告物の景観誘導について、具体的な取り組みを進めるための方向性を示すものである。

②基本方針の全体像



③基本方針の活用

「都市マスタープラン」、「景観まちづくり計画」、「ユニバーサルデザインまちづくりガイドライン」等の関係計画と整合を図りながら、地域主体のまちづくりをはじめ、商店街の活性化、公共広告の計画等、屋外広告物に関する取り組みに基本方針を広く活用し、良好な景観形成に取り組んでいく。

(2) 課題の整理の概要

＜地域特性＞、＜一般広告と自家用広告＞、＜小規模な自家用広告＞、＜新形態等の広告物＞、＜数値規制＞、＜まちに適正な量、内容、方法＞、＜まちの安全性、快適性、利便性、機能性＞、＜設置の時期と管理＞、＜多様な広告と広告主＞、＜複雑で難解な制度＞

(3) 基本方針内容（案）

- 『地域特性をいかした広告のルールづくり』…地域の魅力向上、地域との連携、周辺環境や他地域への配慮
- 『多様な広告の景観誘導推進』…小規模な自家用広告に対する誘導、課題となっている媒体への対応
- 『視覚的空間のユニバーサルデザインの推進』…デザイン誘導推進、広告環境の整備推進
- 『広告主等の景観まちづくり参画促進』…建物新築時の誘導、広告主・管理者への啓発
- 『区民等への景観まちづくり意識啓発』…屋外広告物の意識啓発、まちづくり推進支援
- 『多様な主体との連携』…区民、東京都・隣接区、その他行政機関、大学・専門学校等、関連業界団体等



【委員意見】

- ・現状を踏まえ、これから先、政策としてどのように進めていくのが重要。
- ・景観を考える際には、全ての広告物を捉えて取組んで欲しい。
- ・外国人観光客の視点も含め、ユニバーサルデザインの考え方は重要。
- ・歌舞伎町のまちづくりが進む中、実態調査はとても時期を得ている。
- ・ワークショップや区政モニターアンケート等で区民の意見を組み上げているのは良いこと。
- ・公共の広告も含めて、広く誘導できると良い。
- ・駅周辺と住宅地など、メリハリを付けたルール作りが大切。
- ・地域ルールを作る上では、地域のパートナーが必要。
- ・広告物によるまちの雰囲気はそこでしか味わえない、新宿では観光資源にもなる。